



及 川 健 児 さん(41)
由 希 子 さん(37)

＝江刺区稲瀬字水先＝

雨の日も晴れの日も ●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

家具販売とカフェの店「ミズキノート」を営む及川夫妻。その店内には、2人が作り上げた豊かで優しい空気が充満していました。

2人は仙台の広告会社で出会いました。健児さんはデザイナー、由希子さんはプランナーとして同じチームで働き、そして結婚。楽しそうなお話を聞き、人に喜んでもらうのが幸せという由希子さんと、家具作りに魅せられた健児さん。



健児さんが作った家具に由希子さんのお菓子が並ぶ。りんご畑の見える窓が夫婦のこだわり

ん。2人は会社を辞め、健児さんの実家であるりんご園のそばにお店を開きました。店内の家具も、建物の塗装も、夫婦が手掛けた手作りの店。「その存在そのものが2人の宝物です」と、由希子さんは愛おしそうに話しました。

「同じ仕事をしていただけあって、考え方が似ているんです。一緒にやっていけると思いました。健児さんはやや照れくさそうな表情を見せながらも、結婚を決めた理由をはっきりと語ります。「ここまでついてきてくれてありがとう」。

結婚して家族となり、いつでも自分の味方がいることを幸せに感じるという2人。及川夫妻の幸せの宝探しは、まだまだ続きます。

夢トーク 37

将来の夢は「医者」



ま お なつ み
眞 尾 夏 海 さん
(前沢区・母体小学校6年)

Interview

——学校での役割は？

児童会長です。母体小学校ではあいさつ運動に力を入れていて、みんなのあいさつがどんどん良くなっていくのを実感できたときがうれしいです。

——好きな教科は？

絵を描くことや物を作ることが好きなので、図工と家庭科です。いま家庭科の授業でエプロンを作っています。完成したらそれを着て、家族に料理を作ってあげたいです。

——小学校の思い出は？

ことし、ソフトボールの県大会で3位になったことです。前沢ソフトボールクラブでキャッチャーをしています。

——将来の夢を教えてください。

医者になることです。3年生のころからなりたっている。東日本大震災でたくさんの人が犠牲になったのを見て、あらためて人を助ける仕事をしたいと強く思いました。

——夢を叶えるために、がんばっていることはなんですか？

勉強をがんばっています。理系の勉強だけでなく、苦手な国語もできるようにしたいです。

中高生の部活動や
委員会活動を紹介

1

青春讃歌

江刺東中学校
男子テニス部

- ◎部員数 17人
- ◎顧問 あん ばい たか し 安倍貴史先生
- ◎部長 こん の る い 今野塁君
- ◎主将 きん ち と う や 菊池大也君



県大会を目標に、短期集中！

下校のチャイムが鳴った途端、テニスコートに向かって猛ダッシュする男子生徒たち。江刺東中学校男子テニス部です。ほとんどの生徒がスクールバスで登下校するため、毎日の練習時間はバスが発車するまでの実質 30 分弱。短い時間の中でどれだけ集中し、実りのある練習ができるかが勝負です。

新人戦を終え、シーズンオフが目目前となっても、練習に余念はありません。その目はすでに来シーズンを見据えていました。目標は、来年の中総体での県大会出場。新人戦地区大会では団体3位に入賞したものの、代表決定戦で惜しくも敗れ、涙を飲みました。8月の胆江地区学年別大会2年の部で、小田大輔君とペアで5位に入賞し、11月に開催される岩手カップに駒を進めた主将の菊池君は、「岩手カップは初めての県大会なのでまず1勝したい。そして来年の中総体でも県大会に出場したい」と意気込みを語りました。

顧問の安倍先生は、「目標に向かって粘り強く努力するチームに」と、生徒たちにメッセージを送ります。新人戦での悔しい思いをバネに、来年は県大会出場なるか。生徒たちの集中力に期待します。



練習中とはにかく集中。短い時間を無駄にしない



おうしゅう 羅針盤

秋気が心地よく身にしみる季節となりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。

先月、「いわてまるごと肉フェスタ」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、県南のブランド牛肉や羊肉などの食べ比べができるイベントとあって、家族連れなどたくさんの方にご来場いただきました。平成18年に県南広域振興局という体制ができて以来、管内の8市町がまとまって行うイベントがなかったため、県南が一つになる取組みができたことは何よりです。今後県南一体となって事業を続けていきたいと思っています。

岩谷堂高校在学中にウエイトリフティングでインターハイと国体で優勝した艾幸太選手が、今月ポランドで開催される重量挙げ世界選手権大会に、日本代表として出場し

ます。先日壮行会に出席しましたが、大学進学後も着実に力をつけ、一層たくましさを感じました。大会での健闘と、3年後に開催されるいわて国体での活躍を大いに期待しています。

放射能関連ですが、今年産米の出荷ができることになり、ほっとしています。また、先月、放射性物質による汚染牧草等の試験焼却を行いました。施設周辺の皆さんのご理解により実施でき、改めて感謝します。側溝汚泥の仮置き場についても、少しずつ地域のご理解が得られてきております。これら多くの課題は、皆さんのご理解がなければ解決できません。丁寧に説明していきましますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

今月号から広報おうしゅうをリニューアルしました。広報担当が検討を重ね、市民の皆さんにより身近に感じてもらえる内容に変わったと思います。今後も、市民の目線に立って業務を行うよう、職員ともども心がけていきます。

奥州市長 小沢昌記